

グリーンファイナンス・フレームワーク策定に関するお知らせ

王子ホールディングス株式会社(社長:磯野裕之、本社:東京都中央区)は、脱炭素社会の実現に向けた取り組みの一層の推進に向け、グリーンボンドおよびグリーンローンにより調達する資金を活用していくため、「王子ホールディングス グリーンファイナンス・フレームワーク」(以下、本フレームワーク)を策定したことをお知らせいたします。






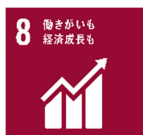



■ 本フレームワーク策定の目的

王子グループは、「環境ビジョン 2050」、「環境行動目標 2030」を制定し、2050年に温室効果ガスの排出を実質ゼロとすること、その過程として2030年に2018年度対比で70%以上削減することを目標として掲げています。目標の達成に向けて、エネルギー効率の改善および再生可能エネルギー利用率の向上による「GHG排出量削減」と、植林地の拡大などによる「森林によるCO₂純吸収量拡大」に取り組むほか、バイオマス発電や水力発電などの再生可能エネルギー電力の供給による第三者のGHG排出量削減への貢献にも積極的に取り組んでいます。

このたび、グリーンボンドやグリーンローンによる資金調達を活用することでこれらの取り組みを更に加速させるべく、本フレームワークを策定しました。

■ 本フレームワークにおける調達資金の用途となる適格プロジェクト

グリーンボンドおよびグリーンローンにより調達した資金は、以下のグリーン適格プロジェクトに係る新規投資または既存投資へのリファイナンスに充当します。

資金用途 カテゴリー	適格プロジェクト	SDGsとの整合性
再生可能 エネルギー	以下の再生可能エネルギーに関する設備投資、運転資金 <ul style="list-style-type: none"> ● バイオマス(発電、熱供給) <ul style="list-style-type: none"> ▶ 非廃棄物由来の燃料を用いる場合は、ライフサイクル全体のGHG排出量が100g-CO₂e/kWh以下の食糧生産と競合しない持続可能な原料に限る <ul style="list-style-type: none"> - 木材や木質ペレットを使用する場合は、国内材については木質バイオマス証明を取得したもの、輸入材についてはFSC等の持続可能性に係る認証を取得したものに限る ▶ PKS(パーム椰子殻)を燃料とする場合は、GGL等の持続可能性に係る認証を取得したものに限る ● 太陽光発電 ● 水力発電 ● 陸上風力発電 	   
持続可能な 森林資源の 保全	<ul style="list-style-type: none"> ● 生産林、環境保全林の取得、保全に係る支出 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 森林資源は、森林認証(FSC認証、PEFC認証等)を取得済み、または今後取得する予定のものに限る ▶ 対象地域における、非森林地を含めた自然景観の保全および復元、生物多様性保全に係る支出を含む ▶ 出資、株式取得または事業譲渡を通じた投資を行う場合は、資金充当時において対象事業体における適格プロジェクトの適正価値を評価し、資金充当額は当該価値を上限とする 	    

■本フレームワークの適格性に関する第三者評価

本フレームワークは国際資本市場協会(ICMA)の「グリーンボンド原則 2021」等の原則・ガイドラインで定める4つの要素に沿って策定しており、第三者評価機関であるDNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社よりセカンド・パーティ・オピニオンを取得しました。また、本フレームワークの策定および第三者評価取得にあたり、助言等の支援を行うストラクチャリング・エージェントとして野村證券株式会社を選定しました。

本フレームワークやセカンド・パーティ・オピニオン等、王子グループのグリーンファイナンスの詳細については、以下のウェブサイトをご参照ください。

URL: <https://investor.ojiholdings.co.jp/ja/ir/greenfinance.html>

本件に関する問い合わせ先
王子マネジメントオフィス株式会社 グループ財務本部 財務部長 大森 祥資 TEL: 03-3563-4460
王子ホールディングス株式会社 広報 IR 部 TEL: 03-3563-4523 E-mail: oji-holdings@oji-gr.com